

SDGs目標と製品開発
—中堅メーカーの取組みと今後—

アトミクス

道路標示事業を軸として

道路 水性速乾化技術で社会貢献

アトミクスは、SDG S17目標のうち9目標について、持続可能な社会実現のために環境負荷低減、CO₂削減、交通事故削減をはじめ、新たな技術

を確保する「アトムセラ シールド工法」により、トンネル内の快適な走行を支援している。

また、同社自慢の水性化技術による大気汚染や健康被害の防止に努めてきたことも大きな貢献に値する。同社製品の水性化は50%を超えており、水性の速乾化技術はまだまだ向上すると確信している。今後も道路等への展開に期待がかかるだろう。

これまでも、洗浄溶剤のリサイクルや木製のパレットの素材を代えることにより、自然保護も意識してきた。

また、道路用塗料では

袋を原料の一部として溶かすことでゴミを出さない環境に関する取組みも37年前から行っている。

同社では、2020年までに課題解決への貢献度が高い製品の整理と方向性を策定した上で「SDGs」への詳細設計を進めてきた。

いよいよ運用を開始し、同社の製品、サービス、技術が「SDGs」に対して大きく貢献できると捉えており、2030年にサステナブルな社会の実現に向けて、「未来につづく安全・安心」を創造することをキーワードとして取り組んでいく。